

アルバータ州

Q 1 財産税制度全体の基本的な仕組みについて

(1)-1 次に掲げる財産に対して、税を賦課する制度があるか(これらを別々に評価・課税している場合も、一体として評価・課税している場合も、各々該当があれば○を付けてください。)

- | | | | | |
|-------|------------------------------------|-----|-------------------------|----|
| ・土地 | <input checked="" type="radio"/> ア | ある | <input type="radio"/> イ | ない |
| ・家屋 | <input checked="" type="radio"/> ア | ある | <input type="radio"/> イ | ない |
| ・償却資産 | <input checked="" type="radio"/> ア | ある※ | <input type="radio"/> イ | ない |

※償却資産について、イと回答した場合は、Q 2以降の回答は必要ありません。

※ 定義が曖昧であるため、本調査においては、アルバータ州の線状資産及び機械・装置を償却資産と考える。
 ※ 償却資産は、州内の自治体で課税しているところと、課税していないところがある。例えば、州最大の都市であるカルガリー市¹や、州都であるエドモントン市²は課税していない。

(1)-2 (1)-1で「ア ある」と回答した場合の税の名称

例：property tax(アメリカ)

Property Tax。

さらに、当税は評価基準に応じて、以下に大別される³。

Market value based standard (市場価格に基づく基準)	Residential Property (住宅用資産)
	Non-residential Property (非住宅用(商業用及び工業用)資産)
Regulated procedure based standard (規制された手続きに基づいた基準)	Farmland (農地)
	Linear Property (線状資産) 例：電力システム、パイプライン、油田・ガス田
	Railway Property (鉄道資産)
	Machinery & Equipment (機械・装置)

(2) 財産税(土地、家屋以外の償却資産)を課しているのは、どのレベルの団体か(該当する欄に○を記載し、ウの場合には欄内に具体的に記載してください。)

資産の種類	償却資産
選択肢	
ア 郡・県レベル (広域的自治体)	

¹ <file:///C:/Users/Kakimoto.PC20209/Downloads/CG-07-03%20-%20Final%20-%202011M2022.pdf>

² https://www.edmonton.ca/residential_neighbourhoods/property_tax_assessment/tax_breakdown

³ <https://www.assessor.ab.ca/history-of-assessment>

イ 市町村レベル (基礎的自治体)	○
ウ その他 (具体的に)	

(3) (2)の課税団体は課税対象資産の価格をどのように求めるのか

〔該当する欄に○を記載し、イ～オの場合は、欄内にその価格の決定方法を具体的に記載してください。〕

資産の種類 選択肢	償却資産
ア「取得価格方式」(取得価格を基礎とした評価)	
①「基準価格方式」(取得価格を補正したものを基礎とした評価)	<p>○線状資産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電力システム 1. 種類や規格等に応じて州が毎年策定するガイドラインを元に基本費用を算出 2. 各設備等の状況に応じて評価人が減価(修正) <p>・電気通信システム、パイプライン及び油田・ガス田</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 種類や規格等に応じて州が毎年策定するガイドラインを元に基本費用を算出 2. 一部を除き、設備等毎に同ガイドラインで定める減価償却係数等に乗じる <p>○機械・装置⁴</p> <p>原則、以下の手順により、基本原価から耐用年数に応じて減価(修正)される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 州が毎年策定するガイドラインを元に基本原価を設定 2. 製造年に応じて、同ガイドラインに規定された修正率を基本原価に乗じる 3. 2で算出した額に、同ガイドラインに規定された評価年ごとの減価率に乗じる 4. 評価人の判断により更に減価することが可能 <p>ただし、州規則により、最終的な課税標準額は、</p>

⁴ <https://open.alberta.ca/dataset/72bf3a6d-d992-4f26-b89b-9d0bc20cf158/resource/2158acdb-39a1-45cc-9c00-3f5de23bdb7d/download/ma-alberta-machinery-and-equipment-ministers-guidelines-2020.pdf>

<https://rmalberta.com/resolutions/14-06f-machinery-and-equipment-municipal-tax-rate/>

	上記の式で求められた評価額 77%とされている。 ※77%という数値は、経済的価値や市場価値とは無関係に決定されたものである。
ウ「賃貸価格方式」(賃貸市場がある資産の賃貸価格を評価額とする)	
エ「市場価格方式」(取引市場がある資産の市場価格を評価額とする)	
オ その他(具体的に)	

(4) (2) の課税団体は財産税(償却資産)について、税率をどのように設定しているか

ア 一定 (%)

イ 複数 (最小 % (～最大 %))

<複数の場合の具体的な説明>

例: コンピューターは◇◇%、機械装置は☆☆% など

ウ その他

固定資産税の税率は、各自治体の総固定資産税収入を総評価額で割ることによって求められている(そのため税率は自治体によって異なる)。
なお、機械・装置の税率については、州法により、非住宅用資産の税率と等しくすることが求められている。

Q2 課税対象となる償却資産について

(1)-1 財産税が課される償却資産について、その対象範囲等はどのように決められているか

ア 対象となる資産が個別具体的に決められている

イ 個別具体的ではなく、課税対象となる資産の条件(範囲)を決めている

(1)-2 上記でアの場合は具体的な資産について、イの場合は具体的な資産の条件（範囲）を挙げてください。

○線状資産⁵

電力システム（発電、送電、配電）、街頭路システム、電気通信システム（携帯電話システムを含む）、ケーブルテレビシステム、石油製品を輸送するためのパイプライン、鉄道、油田・ガス田に係る施設、設備及び機器

○機械・装置⁶

材料、装置、付属品、設備、機器、装置、タンク（貯蔵専用タンクは除く）、土台、足場、その他大臣が定めるもので、以下の目的のために使用され、事業毎に不可欠な部分を形成するものをいう（法律上も、一部線状資産の項目と重複している）。

(i) 製造

(ii) 加工

(iii) 天然資源又はその生産物若しくは副産物のパイプラインによる生産又は輸送

(iv) オイルサンド保全法で定義される石炭又はオイルサンドの掘削又は輸送。

(v) 電気通信システム

(vi) マイクロ発電ユニット以外の電力システム。

なお、土地・建物に付随するものについては、それらを譲渡または売却する際に、同時に移動することができるかによる。

以上です。ありがとうございました。

⁵ <https://open.alberta.ca/dataset/13710944-2933-44b3-9c3c-8df668435e2d/resource/eb203b6c-f7ce-4c6d-be08-dffd6a636112/download/mga-review-linear-property-assessment-and-taxation-discussion-paper.pdf>

⁶ <https://open.alberta.ca/dataset/72bf3a6d-d992-4f26-b89b-9d0bc20cf158/resource/0d5ce6e6-5918-44c5-b589-05b99916ace3/download/ma-alberta-machinery-and-equipment-ministers-guidelines-2021.pdf>

https://www.qp.alberta.ca/documents/Regs/2017_203.pdf